



樹妙だより

No.224 2026/6.7

県総体・野球親善試合の様子



撮影：丹羽奏水（写真部）



撮影：角田詩歩（写真部）



撮影：谷明莉（写真部）



撮影：丹羽奏水（写真部）



撮影：熊澤心（写真部）

慈悲喜捨

6月10日は「時の記念日」です。時間の使い方はその人次第ですが、二度と取り戻すことができない大切なものであることは確かです。

日本では、「時間をきちんと守って、欧米のような生活の改善、合理化をはかる」という目的から、1920年（大正9年）に「時の記念日」が制定されました。現在は、世界中の人から、「日本人ほど時間に正確な国民はいない」と言われ、日本人の多くが時間を守ることを最低限のマナーとして認識しています。

日本書紀には、天智天皇が漏刻（ろうこく）と呼ばれる水時計を置いて初めて時を打ったという記述があります。これが、日本において初めて時計が鐘を鳴らして時を知らせた記録とされ、その日が、西暦671年6月10日だったことから時の記念日になったということです。その頃の日本は、1日を12等分して十二支を当てはめ、昼夜をそれぞれ6等分して時間を把握していました。そのため、季節によって昼夜の長さが変わり、時間の長

さも一定ではなかったようです。しかし、昔の人は日の出と共に起きて、日の入りと共に寝る生活をしていたので特に問題はなかったようです。

この時代から今日まで残っている言葉には次のようなものがあります。正午（しょうご）は午（うま）の刻と言ひ、太陽が南中にくる頃だったので、昼の12時を表しています。お八つ（おやつ）は、未（ひつじ）の刻がちょうど八つ時の午後3時頃なので、お茶請けにいただくものを表しています。また、丑三つ時（うしみつどき）は、深夜2時から2時半頃で、怪談で「草木も眠る丑三つ時」と語られる時刻を表しています。

太陽や月の動きから「時」を感じた時代と違い、現代は、時間を意識しながら生活しています。しかし、時間が二度と戻ってこないものであるからこそ、自然に目を向けて季節の変化を感じるなど、過ぎ行く時を大切に心にとりを持つようにしたいものです。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

気がつけば 5000 回

初夏の陽気を通り越し、まるで真夏を思わせるような暑い日が続いております。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本来であれば、これから梅雨を迎え、紫陽花の彩りに季節の移ろいを感じる頃であります。しかし近年は、四季の歩み方そのものが変わってきたようにも感じられます。「地球温暖化」という言葉を耳にしない日はありませんが、自然環境の変化は、私たちの生活や子どもたちの未来とも決して無関係ではありません。便利さを追い求める一方で、自然との共生について改めて考える必要がある時代に入っているのかもしれません。

そのような中ではありますが、学校には今年も、生徒たちの熱気と期待に満ちた季節がやってまいりました。2年に一度開催される本校最大の行事、「月影祭（文化祭）」がいよいよ間近に迫っております。

今回のテーマは『星彩の青春』です。「星彩」とは、夜空を彩る無数の星の輝きを意味しております。一人ひとりがそれぞれの個性を輝かせ、自分らしい夢や可能性を大切にしながら未来へ羽ばたいてほしい——そんな願いが込められております。しかもこのテーマは、生徒たち自身の応募の中から選ばれたものです。私はこの言葉に、今の生徒たちの感性の豊かさと、仲間を大切にする優しさを感じました。

文化祭は単なる発表の場ではありません。仲間と意見をぶつけ合い、協力し、時には悩みながら一つのもので作り上げていく過程そのものに大きな教育的価値があります。成功の喜びだけではなく、思い通りにいかない経験も含めて、生徒たちは多くのことを学び、成長していきます。当日はぜひ、生徒たち一人ひとりの「星彩」を感じ取っていただければ幸いです。

さて、5月1日、私自身にとって少し嬉しい出来事がございました。本校ホームページに掲載しております「理事長コラム」が、5000回を迎えたのであります。

飛び上がって喜ぶというよりは、「よくここまで続けたな」と、もう一人の自分が肩を

叩いてくれるような、そんな静かな嬉しさでありました。

このコラムを書き始めたのは平成 20 年 10 月 23 日。当初は中学校ホームページだけの小さな取り組みでした。当時、本校のホームページは更新頻度も少なく、私は「学校の元気はホームページにも表れる」という話を耳にしたことがありました。「先生方に負担をかけず、自分にできることはないだろうか。」そう考えた時、「それなら私が学校の日常を書こう」と思い立ったのです。担当者から「タイトルを付けてください」と言われ、とっさに浮かんだのが『今日を生きる』という題名でした。

今振り返りますと、実に見切り発車であります。もしあの時、構成や将来性ばかりを慎重に考えていたら、おそらく最初の一步は踏み出せなかったでしょう。そして継続には、思いがけない副産物がありました。毎日書くためには、常にアンテナを張って生活しなければなりません。本を読んでも、人と話しても、生徒たちの様子を見ても、「何か心に残るものはないか」と自然に探している自分がいるのです。すると、以前なら見逃していたような小さな感動や発見に気づけるようになりました。

これは私の人生を豊かにしてくれましたし、教師としても大きな学びになりました。インプットしたものを、自分の言葉でアウトプットしていく。その積み重ねが、自分自身を成長させてくれているのだと思います。

また、コラムを書くにあたり、自分なりの約束事も決めておりました。一つは「怒りを書かないこと」。もう一つは「できる限り政治色を出さないこと」です。完全ではないかもしれませんが、少なくとも長い間、その姿勢は守ってきたつもりでおります。

「継続は力なり」と申しますが、まさにその通りであります。一步踏み出したことが、自分でも想像しなかった世界へ導いてくれる。そのことを、私はこの 5000 回の積み重ねの中で実感しております。

これからも、生徒たちの日々の成長を大切に見つめながら、「今日を生きる」という思いを忘れず歩んでまいりたいと思っております。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事長コラム『今日を生きる』
はこちらから

合掌

群馬県 高校総体 結果

クラブ名		結果（赤字は関東大会出場）	
バレーボール	男	ベスト16	1回戦 対藤岡工業勝利(2-0) 2回戦 対桐生清桜勝利(2-1) 3回戦 対高崎商業敗退(0-2)
卓球	男	学校対抗優勝 シングルス優勝 ダブルス優勝	学校対抗：優勝 シングルス：優勝(長谷川) 3位(小池) 4位(滝口) 5位(須田) 7位(蛭間) 8位(渡邊) ダブルス：優勝(長谷川・小池) 2位(滝口・蛭間) 3位(須田・村上)
	女	学校対抗準優勝 シングルス3・4・7位 ダブルス3位	学校対抗：準優勝 シングルス：第3位(松岡) 第4位(中澤) 第7位(松島) ダブルス：第3位(中澤・松岡)
バスケットボール	男	ベスト8	2回戦 対館商工139-30 3回戦 対前橋119-45 準々決勝 対前橋育英64-88
	女		1回戦 対 桐生 敗退(36-83)
ソフトボール	男	準優勝	決勝 対 新島学園 0-32
柔道	男	団体5位	順位決定戦5位入賞
	女		初戦敗退
剣道	男		二回戦敗退
弓道	男		予選敗退
	女		予選敗退
相撲	男	団体優勝 個人優勝	団体優勝 個人 優勝(石川)、準優勝(松田)、第3位(吉田)
ラグビー	男	ベスト8	準々決勝 対桐生第一高校 (0-69)
サッカー	男	ベスト32	1回戦 対 明和県央 勝利(5-1) 2回戦 対 伊勢崎工業 敗退(1-6)
バドミントン	男		団体 2回戦敗退 個人 4回戦敗退(ベスト32) 2名
	女		団体 2回戦敗退 個人 3回戦敗退 2名
少林寺拳法	男	組演武2位 団体3位	組演武2位 田島圭吾・増間光輝 男子団体3位
	女		単独演武 出場
ダンス	男女		チーム順位10位
陸上	男	総合3位	★優勝：走幅跳(関口) 400mハードル(富樫) 走高跳(福田) 円盤投(根岸) 3000m障害(大賀) ★2位：砲丸投(根岸) 5000m(岩澤) やり投(嶋崎) 110mハードル(田村) ★3位：三段跳(遠藤) 4×400mリレー ★4位：1500m(大賀) 4×100mリレー 男子棒高跳(戸部) ★5位：1500m(岩澤) その他入賞あり
	女	総合4位	★優勝：棒高跳(大豆生田) 円盤投(皆川) 砲丸投(皆川) ★2位：棒高跳(田島) ★3位：女子棒高跳(永田) 女子砲丸投(今泉) その他入賞あり

身体づくり

今年度より養護教諭として保健室におります池田です。教員は生徒を育てる立場ですが、日々学校生活を頑張る生徒の皆さんの姿に、私自身が一番教えられ、励まされている毎日です。

自身が学生の頃を振り返ってみると、特別成績が良いわけでもなく、勉強は苦手な方でした。ですが、そんな中でも好きだった科目が生物と情報です。この二つは、一見すると「ナマモノ」と「無機質なデータ」で正反対に見えますが、情報の処理と伝達という根本的な仕組みにおいて共通していると思います。生物を学ぶと、道端の花や自分の体の中が精緻な化学工場の連続に見えてきます。そして情報を学ぶと、スマホやパソコンの画面の裏側にある膨大な0と1のやり取りが透けて見えるようになります。どちらも、表面的な現象の裏側にある仕組みを読み解く力を与えてくれます。昨日までの風景だったものが、意味を持った「データ」や「生命活動」として解釈できるようになるワクワク感は、この二科目に共通する楽しさではないでしょうか。

私は養護教諭であるため、ここでは人間の構造について、その魅力を四つの視点でお伝えしていきたいと思います。まず一つ目として、「二足歩行」についてです。もともと四足歩行用に設計されていた骨格を進化の過程で垂直に立て直したため、人類は慢性的な腰痛やヘルニアという宿命を背負いました。重力に対して内臓を支える骨盤は直立のために小さく頑丈になりましたが、そのせいで産道が狭くなり、他の動物に比べて出産が命がけになるというジレンマも抱えています。ですが、この強引な設計変更が自由になった両手を生み、道具や文明を作らせたのだと思うと、不完全ながらも二足歩行になったことは進化と呼べるのでしょうか。二つ目は神経系についてです。私たちの体は、微弱な電気信号で動いています。脳という中央演算装置は、わずか電球1個分程度の電力でスーパーコンピュータをも凌駕する高度な思考や感情の処理、全身の制御を同時に行っています。そして面白いのは、その伝達速度です。痛みの信号は秒速約1メートル程度と意外に遅いものもありますが、反射を司る信号は秒速100メートル以上で駆け抜けます。「熱い!」と感じる前に手が引っ込むのは、脳を介さず脊髄で勝手に処理するショートカット機能が備わっているからです。この徹底した効率化と



スピードの使い分けは、究極のハードウェア設計と言えるでしょう。三つ目は人間を構成する約37兆個の細胞についてです。これは常に死と再生を繰り返しています。胃の粘膜は数日で入れ替わり、肌は約1ヶ月、骨でさえ数年もすれば新しいものに置き換わります。物質的に見れば、数年前の自分と今の自分はほぼ別物の原子で構成されており、ギリシャ神話にあるテセウスのパラボックスを感じます。ただし、脳の細胞は例外であることから、私たちは自分自身で居続けることができているのでしょうか。四つ目は無意識の「自動運転」モードについてです。私たちは意識して心臓を動かしたり、食べたものを分解して栄養を吸収したりすることはありません。これは自律神経というシステムが、寝ている間も休まずメンテナンスを行っているためです。そして面白いのは、このシステムが「感情」とも密接にリンクしている点です。緊張すれば勝手に心拍が上がり、リラックスすれば消化が進みます。心と身体が、目に見えない糸で複雑に絡み合い、お互いにフィードバックし合っているように感じます。

人間の構造の面白さは「精密すぎるほどの合理性」と「行き当たりばったりの妥協」が絶妙なバランスで混ざり合っていることにあります。人間は、完璧ではないからこそ工夫し、道具を使い、言葉を生み出しました。自分自身の体を「高性能だけど、ちょっとお茶目な欠陥車」だと思って眺めてみると、日々の体調の変化や体の仕組みがよりいっそう興味深く見えてくるかと思います。私たちの身体は、一生を共にするたった一つの大切な資本です。目標に向かい熱心に取り組むあまり、日々の忙しさの中で体調の変化を後回しにしがちですが、身体を労ることは自分自身を大切にすることそのものです。過度な無理が続く前に、身体が発するサインを敏感に察知し、適切に休息を取ることができるよう努めていきましょう。

〔養護 池田 優紀〕

一貫校中学校だより

6年6色

1年生の様子について

26期生が入学して1か月が過ぎました。この学校が創立し四半世紀が経過したことにも感慨を覚えずにはられません。

1学年の学年目標は「Believe～自分の可能性を信じ、仲間のよいところを見つける～」です。自分の可能性を狭めて、やる前からできないとあきらめるのではなく、まず一歩を踏み出してやってみる、できることを見つける精神で物事に取り組んでほしいです。また、1年生は様々な地域から通学していて、お互いを知らない者同士です。6年間付き合っていく仲間なので、友達のよいところを見つけて生活してほしいと願っています。6年間の基礎となる1年のため、樹徳の基礎・基本を身に付けられるように私達教員は指導していきたいと思えます。

26期生を1か月見てきて、落ち着いていて、困っている友達がいたら進んで手助けできる生徒が多いという印象です。良い雰囲気です。学校生活を過ごしています。きろくま（生活記録）には「学校生活に慣れてきて、話せる友達が増えてきた。」「勉強が小学校に比べて難しくなったけれど、頑張っていきたい。」「部活と学習を両立したい。」「など生徒は前向きに生活している様子を綴っています。

4月のオリエンテーションでは樹徳中学校、学習、生活、Chromebookの利用について学びました。5月の日帰りオリエンテーションは桐生市野外活動センターで集団生活について学び、より絆を深める機会にしたいと思っています。

1学年主任 保坂 洋実

2年生の様子について

25期生は、1組19名、2組18名で構成されています。学年のスローガンは【愛嬌・学力・思いやり】です。昨年度から合言葉のように、学年全体で周知されています。

①愛嬌

爽やかな挨拶ができます。ホームルームや廊下でのすれ違う時、元気な声で溢れています。これからも応援される人を目指して日々、丁寧に取り組んでいきます。

②学力

今年度は、スモールステップを大切にしたいとクイック5（小テスト）に熱心に取り組んでいます。みんなで互いに高め合って頑張ろうと意識した日から、出だしはとても好調です。「努力したから結果に繋がる」ことを実感し、皆で楽しみながら続けていきます。

③思いやり

25期生は個性が光る生徒の集まりです。その個性を認め合い、一人ではできないことも25期のチームワークで乗り越えていきます。今年度も月影祭、球技大会、高原学校、合唱コンクール、スキー教室、立志式など様々な行事があります。25期の力を集結させ、一致団結、一生懸命に頑張り、成功させたいと思えます。

中学2年生は心も体も成長し、とても大切な時期です。また学習面でも少しずつ難しくなり、大事な時期になります。前向きな姿勢を忘れずに、充実した学校生活を送り、様々なことに挑戦できる年になるよう、37名で努めて参ります。

2学年主任 田村 香央莉



◆行事紹介

【入学式4月8日】

暖かな春の日差しの中、令和8年度入学式が挙行され、新入生39名が希望を胸に、樹徳中学校での新たな一歩を踏み出しました。真新しい制服に身を包んだ新入生たちは、少し緊張した面持ちの中にも、これから始まる学校生活への期待に満ちた笑顔を見せていました。勉強や部活動、仲間との出会いを通して、一歩ずつ成長して欲しいと思います。新入生の皆さんのこれからの活躍を心より期待しています。



【花祭り(4月10日)】

多くの生徒が色とりどりの花を持ち寄り、花御堂を華やかに彩ってくれました。校長先生のお話では、お釈迦様の誕生や花祭りの由来・意義について学び、生徒たちは静かに耳を傾けていました。その後、一人ひとり花御堂のお釈迦様に甘茶をかけ、感謝の気持ちを込めて手を合わせました。また、生徒たちも甘茶をいただき、日本の伝統行事に親しむ貴重なひとときとなりました。

幼稚園だより

進級・入園から早2か月が経ちます。子どもたちと幼稚園生活を共にしていると、一日一日が進むのがとても早く感じます。立夏が過ぎ、暦の上では夏が始まり、最近では日に日に暑い日が増えてきています。この時期になると、休み時間から戻ってくる子どもの顔は赤く汗びっしょり。子どもたちの口からは「もっと砂遊びしたかったよ～」など不満を漏らしながらも、「楽しかったね～」「また一緒に遊ぼうね」など充実感いっぱいの顔をしています。6月はプールや遠足、保育参観、じゃがいも掘りなど楽しい行事が続きます。病気にならない体を作るためにも「早寝、早起き、朝ご飯」に努め、元気いっぱい生活してほしいと思います。梅雨に入ると、雨が続いて外で遊べない日が増えますが、子どもたちには、雨は私たちの生活に大事な役割を果たしていることを伝えていきたいです。

◆「はじめの100か月」に愛着の形成を

最近、国の政策において「愛着（アタッチ）の形成」が非常に注目されており、国の公式な指針や施策にしっかりと組み込まれるようになってきているとのこと。そこで、「愛着の形成」について少し調べてみると、令和5年12月12日に政府が閣議決定した、幼児期までの子どもの育ちに関する基本的な方針「はじめの100か月の育ちビジョン」において、愛着形成が最重要テーマの一つとして位置づけられたということです。こども家庭庁の発表によると、「はじめの100か月」とは、母親の妊娠期から小学校に入学するまでの時期で、子どもにとって生涯にわたるウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に幸せな状態）の向上にとって最重要時期であるとのこと。

心理学において、「愛着行動」とは、乳幼児が不安や恐怖を感じるときに、親密さや安心を求めて、特定の養育者に求める行動（泣く、後追い、抱っこを求める）を言います。乳幼児は、特定の安心できる養育者とアタッチ（ひっ



新緑の中、親子で茶臼山登山に挑戦

つく）することで、自分の不安定な感情を落ち着かせます。つまり、泣く行為で親を呼び求め、それに反応した親が抱っこでスキンシップを取り、声をかけることで、子どもは安心感を得ることができるのです。この日常の一連の流れが、親子の愛着形成にとって重要な場面となるのです。このような愛着形成にとって最も重要な時期は、生後6か月から2歳頃までと言われていますが、この乳児期に抱っこが足りない子どもは生理的欲求が十分に満たされておらず、4～5歳になっても親に抱っこを求めます。この状態を「抱き癖がつく」と見てしまうと、抱っこが足りない故に不安感を抱えている子どもを突き放し、今後不安感を抱えたまま成長させていくことになります。

国が今回の施策で強調していることは、「愛着の対象は母親や血縁関係だけでなくよい」という点です。「母親がつきっきりで育てなければならない」といった固定観念にとらわれず、父親・祖母・あるいは保育士など、「子どもが困ったときにいつも優しく応答してくれる身近な大人」であれば、誰とでも愛着は形成されるという科学的知見を国が公式に発信しています。

園でも、寂しくなった子どもが先生の膝に座って一休みし、元気を取り戻してまた遊びに戻っていく光景をよく目にします。ご家庭でも、お子さまが甘えてきたときは「今は心の充電時間なんだな」と捉え、ゆったりと向き合ってみてください。その積み重ねが、折れない強い心を育てます。

園長 佐野 悦生



お釈迦様の誕生を学ぶ 一花祭りー



みんなで友達のお誕生日を祝う

令和8年度入園児募集中

◎2歳・3歳・4歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員：2歳児 10名、3歳児 10名、4歳児 5名

○入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

○お問い合わせ：（認）樹徳幼稚園 佐野まで。☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

QRコードは、インスタグラム（幼稚園生活の様子）です。



@JUTOKUKINDERGARTEN

6月(正語)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	月	更衣 月影祭準備短縮授業(～6/3) 校内安全点検	更衣・校内安全点検日 中高LHR・頭髮服装指導	安全点検日 不審者対応避難訓練 教育実習生受け入れ(2名)
2	火			リズム
3	水	探究・LHR 県校長会		英語・文字(年長)
4	木	マイトリー基金拠金日 月影祭準備(終日)	マイトリー基金拠金日 月影祭準備	歯科健診 体育・文字(年中)
5	金	月影祭 校納金・校外学習費用納入日 県高P連総会(～6/6) 浄土宗立宗門校 教育振興会理事会(～6/6)	月影祭・オープンキャンパス 授業料納入日	群私幼・認こ園PTA連合会通常総会
6	土	月影祭	月影祭・オープンキャンパス 校内ビブリオバトル	開園日(預かり保育)
7	日	月影祭片付	月影祭片付け	
8	月	振替休日(6/6)		リズム
9	火	3年生進路ガイダンス 内科検診⑤	高校内科検診	プール開き 文字(年長)
10	水	前期教育実習開始 探究・LHR 歯科検診②	医療倫理・医系進学講座③	保育料納入日 英語
11	木	歯科検診③ 法人役員会(定時評議員会)	耳鼻科検診(1年+前年度有所見者)	教育実習生研究授業① 体育
12	金	2年生進路ガイダンス 漢字検定①	漢検①	文字(年中)
13	土		土曜補習	開園日(預かり保育)
14	日			
15	月	朝礼 マナーアップ運動 学年主任会③	高校朝礼・中学LHR 中3組税教室 マナーアップ運動 中3「海外語学研修」第1回説明会	文字(年長)
16	火	日私中高連常任理事会		ボール投げ教室②(年中・年長) 園長事務連絡会議 リズム
17	水	探究・LHR 歯科検診④ 校内研修(いじめ防止)①	校内弁論大会(午後)	お茶のお稽古②(年長) 英語
18	木			体育・文字(年中)
19	金			園外保育(春の遠足)
20	土	数学検定①	後援会懇親会 授業参観・中学生登校日 数検①	開園日(預かり保育)
21	日			
22	月	教科主任会③ 3年J・S組三者面談(～6/26)	中学朝礼・高校LHR	開園記念日
23	火	関東高P連総会 七都県高等学校進学問題協議会		たけ組保育参観 リズム
24	水			さくら組保育参観 英語・文字(年長)
25	木		歯科講演会1年	もも組保育参観 教育実習生研究授業② 体育
26	金	制服77ターサービス 樹の根の会総会 関東地区私学保護者連合会理事会(茨城)	中学早朝自主学习(～7/7) 三越アフターサービス	ひよこ・すみれ組保育参観 文字(年中)
27	土	1,2年ベネット学力テスト/3年ベネット記述模試	4～6年生進研模試①	保護者会廃品回収
28	日			
29	月		中高LHR	
30	火	出欠統計提出		じゃがいも掘り(全学年) リズム

行事予定は変更になる場合があります。学校からの連絡にご注意ください。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

・6月、7月の予定は未定です。

7月(正業)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	水	探究・LHR 求人受付開始 校内安全点検 マイトリー掬金日 野球部壮行会(6時限目) 県校長会	野球部壮行会 マイトリー基金掬金日 校内安全点検日・頭髮服装指導	安全点検日 英語・文字(年長)
2	木	期末試験(～7/7)	高校期末試験(～7/7) 中学自主学習DAY	体育・文字(年中)
3	金	関東高P連群馬大会	中学期末試験(～7/7)	
4	土	全国高校野球選手権大会群馬大会開幕		開園日(預かり保育)
5	日	全商ビジネス文書検定	英検2次①	
6	月	校納金・第1回諸費納入日 中高協会定例会(ラネ)	授業料納入日	
7	火		中学ITトラブル防止教室	七夕祭り
8	水	生徒募集要項説明会(中学校教員対象) 探究・LHR 制服77ターサービス オープンコート採寸(1年生)	医療倫理・医系進学講座④	英語・文字(年長)
9	木	生徒募集要項説明会(学習塾対象) STEM教育実践授業(2年生進学探究クラス)	中学生学年別東京研修(祖山参拝)	体育・文字(年中)
10	金	視聴覚教室	視聴覚教室	保育料納入日 幼交連「交通安全教室」
11	土		海外科学研修(～7/20) 土曜補習	開園日(預かり保育)
12	日	英語検定①二次		
13	月	学年主任会④ 教科主任会④ 選挙出前授業	中学保護者会	
14	火	日私中高連常任理事会 担任宛成績提出		ボール投げ教室③(年中・年長) 園長事務連絡会議 リズム
15	水	探究・LHR(インターハイ壮行会)	インターハイ壮行会	英語・文字(年長)
16	木	成績会議(16:00～) 日本私学保護者連合会総会・研修会(高崎市)(～7/17)		体育・文字(年中)
17	金	薬物乱用防止講演会(5.6時限)	高校 薬物乱用防止講演会	1学期終業式 たけ組保護者園内清掃
18	土			開園日(預かり保育)
19	日			
20	月	海の日		海の日 園児夏休み(～8/25)
21	火	終業式 ITS研修(13:15～ ハラスメント防止)	終業式	年長お泊まり会① 預かり保育①
22	水	生徒夏休み 運営委員会② 台湾留学説明会 3年河合塾全統共通テスト模試(～7/23)	生徒夏休み・台湾留学説明会 高校リベハイ(～7/31)	年長お泊まり会② 預かり保育②
23	木	オープンスクール打合せ(13:00～) 全国高校総体開会式	6年河合塾共通テスト模試① 高校リベハイ②	預かり保育③
24	金	振替休日(6/7)		預かり保育④
25	土			開園日(預かり保育)
26	日	全国高等学校総合文化祭(秋田)(～8/1)		
27	月	3年生就職ガイダンス		預かり保育⑤
28	火			預かり保育⑥
29	水		中学 リステ・学習支援・SSL(～7/31)	預かり保育⑦
30	木		特別授業見学会・学校説明会①	預かり保育⑧
31	金		特別授業見学会・学校説明会②	預かり保育⑨

行事予定は変更になる場合があります。学校からの連絡にご注意ください。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく